

## エネルギー関連施設見学演習

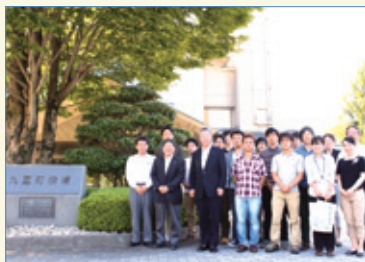
2013年9月2日(月) (株)東芝 磯子エンジニアリングセンター、(株)IHI横浜第一工場

1期生・2期生の14名が参加し、原子力発電プラントの設計・製造現場を見学実習しました。参加した学生からは、「開発までの道のりやより良い製品を生み出すための発想など、自身の研究生活でも見習うべきことが多かった」「日々の改良から生まれる発想も多くあることを知り、「最前線の現場の力」を感じた」などの感想が寄せられました。

2013年9月17日(火) - 18日(水) 大分県大分市、玖珠郡 九重町・玖珠町

2期生11名が参加して、分散型エネルギー需給システムや資源の活用、環境共生まちづくりについて、実状や課題について学びました。

連携機関であるJX日鉱日石エネルギーの製油所やコンビナート、太陽光や風力発電施設に加え、大分の特徴ともいえる地熱発電施設を訪問しました。エネルギーを切り口とした様々な施設において、原理や効率、持続性を保つための工夫、理論とは異なる運用レベルでの課題などを知り、学生各々の専門分野から解決策を考える機会となりました。



▲九重町役場前にて、町長の坂本和昭様と

▼八丁原地熱発電について説明を受ける様子



**訪問先一覧** 九州電力八丁原地熱発電所(地熱発電)、日産グリーンエナジーファーム(太陽光発電)、玖珠ウィンドファーム(風力発電)、JX大分製油所、昭和電工大分コンビナート、九重町役場(エネルギー政策、他)

## Monash Green / Sustainable Technology Conference

2014年2月8日(土) - 13日(木) モナッシュ大学クレイトンキャンパス(オーストラリア・メルボルン)



▲企業見学演習(Dulux)

▶研究プレゼンテーションでは現地の教員・学生から積極的に質問を受けていました



昨年度に続き、海外連携機関であるモナッシュ大学に2期生16名が赴き、Green / Sustainable Technology Conferenceを共同実施しました。3名のシニア教員と4名の若手教員からのグリーンケミストリーに関するレクチャー、モナッシュ大学の博士学生5名を交えての研究プレゼンテーションとディスカッション、モナッシュ大学の複

数研究室に分かれてのラボ実習、ビジネスパーク内に構えるMiniFABやDuluxグループ企業見学演習などに参加しました。海外の一流大学における教育研究や企業との連携の最前線を実感する体験となりました。

## “一流”を身近に

2013年12月17日(火)、ノーベル物理学賞受賞者のPeter Grünberg(ペーター・グリュンベルク)先生が来訪しました。今回が2度目となります。1期生・2期生の代表4名が各々の研究プレゼンをし、グリュンベルク先生からコメントをいただきました。省エネルギー・高持続性に資するナノ材料に関するご講演を挟み、座談会では専門や人生観などに関して意見交換し、交流を深めました。グリュンベルク先生には本プログラムの招聘研究教授を務めていただいています。



## リーディングフォーラム2013「学生フォーラム:Next Visionary」

● 2014年1月10日(金) - 11日(土)

リーディングプログラム採択大学の関係教職員・学生が一堂に会し、関係者間の情報共有や学生フォーラム(Next Visionary)が行われました。

Next Visionaryには、本学から3チーム・9名が参加し、全チームが一次審査を通過しました。

## エナジー・ネクスト コロキウム

● 第8回:2013年10月4日(金)

先進理工学研究科 応用化学専攻  
本間敬之 教授

「固液界面反応とナノファブリケーション・  
なしてもならぬがなさねばならぬ」